

教育懇談会で意見交換

5月26日、31日に教育懇談会を開催しました。小林洋文教育長から「教育の町」づくりについての説明と、「教育のまち」として全国的に注目されている大分県豊後高田市での取り組みを紹介しました。教育懇談会でのQ&Aと、その後の検討結果を掲載します。

◆無料塾、まずは中学3年生、夏休みに

Q 豊後高田市ではどのような講座があるか？

A 豊後高田市では、水曜、土曜、夏季、冬季講座。例えば水曜講座は毎週水曜1時間。会場は小学校や公民館。それに加えてケーブルテレビでの取り組みがある。富士見町の今年度の計画では、中学3年生を対象に、まずは夏休み、次に冬、水曜講座も検討中。

Q 中学3年生は部活を引退して、もっと早く始められないか。夏と冬の2回だけでは学力が上がるのか疑問。定期的、継続的に講座を設けてはどうか。

A 出来ることなら始めたいが、今年は夏休みから。秋以降は継続の方向で検討していく。

Q ボランティア講師への指導や研修は。

A 打ち合わせを含め、2回程度の研修会を時間を十分とって開く。

Q 無料塾の成果をどうみるか。

A 中学3年はテスト結果が志望校の結果に直結する。学校と塾で学習内容がずれると評価がずれる。無料塾の成果は学校での点が上がることか、進学校への入学か、どこで学力レベルを計るのか。成果の指針があれば分かりやすい。

A 長い目で見ていただきたい。初年度は無料塾を受けたから志望校のレベルが直ちに上がる

ると思ってもらっては困る。基本は学校、塾は後方支援。受講生の感想を尊重し、その後の改善につなげたい。

◆家庭学習は短時間でも毎日継続を

Q 通学に1時間以上かかる。帰宅後に遊びも取り入れると家庭学習の時間確保が難しい。通学時間を考慮に入れた家庭学習の方法もあってもいいのでは。

A 歩くことは、体力をつける意味でもとても大切。小学校3年生くらいまでは徹底的に遊びこむことが必要です。歩いたり、遊んだり疲れて勉強時間が取れるのかといわれるが、小学1年生なら1日最低20分はやってくださいというもので毎日、短時間でもいいので継続的に行うことが大切です。

◆「家庭学習の手引き」を活用してほしい

Q 学習に対して興味を持つ、学

平成24年7月1日発行  
富士見町教育委員会編集  
☎62-9235  
kodomo@town.fujimi.lg.jp

定例教育委員会  
7月11日(水)  
午前8時40分より  
役場2階  
教育長応接室  
傍聴歓迎!

子どもに関する  
なんでも相談  
月曜日～金曜日  
午前8:30～午後5:15  
☎62-9233  
家庭・教育相談員  
(鈴木)



(「子育てホットファミリーかるた」より)

◆児童公園の実現のため歩み始めました

Q 町には遊具のある公園、未就園の子どもが異年齢の子ともと遊べる場が少ないように見えるが。

A 児童公園が町にはない。6月18日、子育て推進協議会の委員の皆さんと、町内の公園の実態、町外の「金沢公園」や「弓振公園」を視察した。建設に向けて努力したい。

Q 「教育の町」づくりの取り組みでの目標、子どもたちにとってほしいと考えるか。

A 町に大切に育てられたという気持ちをもとに育ち、外に出て行っても戻ってきてくれる。そういう方向になればいい。

7月15日(第3日曜日) は家庭の日

海や山、自然の中へ出かけたり、家でゆっくり過ごしたり、家族のふれあいをふかめましょう。



編集後記

今月から夏休みが始まります。家庭学習や無料塾など、各ご家庭の協力をよろしく願います。(Y)